

長崎市立緑が丘中学校部活動振興会規約

第1条 名称および事務局

本会は長崎市立緑が丘中学校部活動振興会と称し、事務局を緑が丘中学校内におく。

第2条 目的

本会は、学校管理下における学校教育活動として、体育・文化的活動を助長して、中学生としての心身の発達をはかるとともに、健全な社会人としての育成に寄与することを目的とする。

第3条 事業

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- (1) 部活動振興のための計画・運営に関する事項
- (2) 各部の連絡調整に関する事項
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

第4条 会員

本会は本会の目的に賛同する緑が丘中学校生徒の保護者・指導員（教職員・民間指導者）をもって組織する。

第5条 部員

本会の入部資格者は、緑が丘中学校生徒とし、入部に際しては、「入部届」に保護者の誓約書を添えて提出するものとする。

第6条 役員

本会に次の役員をおく。

会長1名、副会長若干名、事務局（事務局長・書記・会計若干名）
各部部長、指導員代表若干名、顧問1名、その他監査2名をおく。

第7条 各部の組織

- (1) 各部は入部した生徒の保護者を持って構成する。
- (2) 各部に部長・副部長・運営委員をおく。
- (3) 各部に顧問教員として教職員を1名以上おく。また、必要に応じて民間指導者をおくことができる。

第8条 役員の任務

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在の場合はその職務を代行する。
- (3) 役員会は本会の企画運営にあたる。
- (4) 書記・会計は本会の記録会計事務を行なう。
- (5) 部長は部の活動全般を統括する。
- (6) 顧問は本会活動全般について助言する。
- (7) 監査は本会の会計を監査し、結果を総会において報告する。

第9条 役員の選出

- (1) 会長は緑が丘中学校PTA会長もしくは副会長の兼務とする。
- (2) 副会長は緑が丘中学校PTA会長もしくは副会長数名が兼務し、2名は部活動部長の中から選出する。
- (3) 事務局長は教頭とする。
- (4) 部長は各部の会員で互選する。
- (5) 指導員代表は会長がこれを委嘱する。
- (6) 書記・会計は会長がこれを委嘱する。
- (7) 監査は役員会において、会員の中から選出する。
- (8) 本会の顧問は校長とする。
- (9) 書記・会計は役員会に出席する。

第10条 役員の任期

本会の役員の任期は1カ年とし、再任を妨げない。もし、役員に欠員が生じた場合は役員選出方法にならって補充する。その任期は前任者の残任期間とする。

第11条 会議

本会に次の会議をおく。

1. 総会 2. 役員会 3. 部長会 4. 部会 5. 指導員会
- (1) 総会は年1回とする。ただし、役員会で必要を認めた場合は会長が招集する。
- (2) 役員会は年3回とする。ただし会長が必要と認めた場合は招集する。
- (3) 部長会は会長が必要と認めたとき招集する。
- (4) 部会は部長が必要と認めたとき招集する。
- (5) 指導員会は会長および顧問が必要と認めた場合招集する。

第12条 会計

- (1) 本会の経費は会費および補助金をあてる。
- (2) 予算は役員の決議を経て総会で承認する。
- (3) 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

第13条 表彰

表彰規定を別途定め、本会の振興発展に功績が顕著であった者並びにその功績が優秀と認められた者を表彰することとする。

第14条 本校設置部外対応（会員・部員のみなし規定）

本校に未設置の部活動で中総体及び新人大会に出場を希望する生徒への対応は、以下のとおりとする。

- (1) 市中総体に出場を希望する生徒は、呼びかけ期間に申し出て校長から許可を受ける。
- (2) 出場希望生徒で、緑が丘中学校部活動振興会に入会を希望する場合は、入会費を2,000円納入するものとする。
- (3) 出場時の顧問（監督）は、緑が丘中学校職員を臨時的に選定するものとする。
- (4) 入会した生徒の中総体に関わる県大会・九州大会・全国大会出場時の奨励費及び補助金・祝い金は援護基金規約に準じて支払うものとする。

第15条

本会の規約の改廃は役員会・指導員会の議を経て総会で承認する。

附則 昭和49年10月6日より実施

附則 平成9年4月30日より一部改正

附則 平成22年4月30日より一部改正

附則 平成23年4月27日より一部改正（表彰規定の追加）

附則 令和2年4月24日より一部改正（会員・部員のみなし規定）

長崎市立緑が丘中学校部活動運営規定

第1条 部の編制

部の編成は、年度当初とする。ただし、下表の基準人数を1年間下回った部は、翌年度4月から部員募集を停止し、部員がいなくなった時点で廃部とする。

部活名	基準人数 (人)	部活名	基準人数 (人)	部活名	基準人数 (人)
バスケットボール	4人	陸上	3人	ソフトテニス	4人
バレーボール	5人	軟式野球	8人	吹奏楽部	3人
バドミントン	2人	サッカー	6人	美術	3人
柔道	男子2人 女子1人	剣道	男子2人 女子1人		

第2条 入 部

(1) 入部を希望するものは、保護者の誓約書（入部届）を提出し、会長の承認を得る。

第3条 場所・施設・設備・用具など

- (1) 場所・施設・設備などは本校のものを借用する。ただし、他の機関の施設などの利用もできる。
- (2) ボールなどの消耗品は部費でまかなう。ただし、各部とも用具が完備するまでは本校用具を借用する。
- (3) ユニホーム・シューズ・ラケット等個人で購入するものは、個人負担とする。

第4条 活動日時

- (1) 平日の活動時間は、
夏季時間（4月～9月） 16:30～18:30
中間期時間（10月・1月～3月） 16:30～18:00
冬季時間（11月～12月） 16:30～17:30 とする。
- (2) 土・日・祝日の練習時間は、8:30～17:30 までとし、別途計画表にしたがって活動するものとする。但し、顧問・コーチ・保護者のいずれも不在の場合は、練習を停止する。
- (3) 夜間の社会体育への参加については、帰宅後、保護者の責任下において参加することを原則とする。
- (4) 早朝練習については、必要に応じて計画的に行うこととする。時間帯は7:30～8:00 までとし、週3回までの実施を原則とする。早朝練習を実施する際は、校長の許可を得る。

第5条 試 合（文化部については、コンクール・作品展に読み替え）

練習試合、招待試合、あるいは競技参加の場合は、部長および指導員は会長に届け出て許可を受けるものとする。

第6条 会 費

- (1) 会費は年間一人当たり4,000円（内 500円は課外クラブ補助制度会費）とする。
- (2) 納期は部活動説明会後から5月末までとする。
- (3) 会費は原則として返納しないものとする。ただし他の部への移籍については再度会費の納入は必要はないものとする。

第7条 指導員

- (1) 本会の各部の顧問は、長崎市立緑が丘中学校教職員とする。
- (2) 各部活動の外部コーチ（指導員）は、各部保護者会の総意のもと、校長が推薦し、市教委が委嘱した者をあてる。外部コーチの委嘱については、指導員規則に則り、委託期間を1年とし、再選を妨げない。

部活動運営規定の補足

- 1 テスト前などにおける練習休みは次のとおりとする。
 - ・定期テスト（中間、期末、学年末）は前7日間とする。
 - ・実力テストは前3日間とする。 ＊公式戦が近い場合はこの限りではない。

○定期テスト期間中または、テスト前練習停止期間中における大会・コンクール参加（協会・冠大会等）については、保護者承諾のもと、年間2回に限り参加できることとする。ただし、市選抜・県選抜選手に選出された場合

はこの限りではない。なお、この間の練習は、1時間程度に留めるものとする。

- 2 下記の場合、校長、教頭、生徒指導主事、各部顧問等で協議し、奉仕活動への参加・部活動への参加停止等を行う場合がある。ただし、各部への措置ではなく、該当生徒への措置・指導に留めるものとする。なお、下記(1)～(3)の行為については、参加停止を原則とするが日数等については、その程度、頻度によって判断するものとする。
 - (1) 暴力行為、またはその指示を行い、人や物に大きな損害を与えた時。
 - (2) 窃盗・飲酒・喫煙等の不良行為をした場合。
 - (3) 眉そり・髪染め・ピアス等の異装等があった場合。
(中体連申し合わせにより原則試合出場停止。文化部においても準ずる。)
 - (4) 部で利用する施設・用具等の管理状態が著しく悪い場合及び下校時間が守れなかった場合。
 - (5) その他、学校の規則を守らなかった場合。(買い食い・飲食・携帯電話持ち込み等)
- 3 本校における長期休業中の練習について
 - ・登下校の服装については、原則的に通学時の服装とするが、学校指定のジャージやその部で揃えたユニホーム・ジャージでも可とする。
 - ・原則として本校規定の補助バッグとする。
- 4 休日及び長期休業中などの食事について
 - ・弁当・補食は持参とし、各部で指定された場所で食事をする。
- 5 清掃について
 - ・清掃、戸締りはいずれも最後に使用した部が責任を持ってあたる。
 - ・体育館…フロアー、更衣室、ゴミ箱 ・運動場…運動場、更衣室、ゴミ箱
 - ・武道場…武道場内外 ・ゴミを捨てる時は、分別して捨てる。
- 6 長期休業中の練習実施について
 - ・長期休業中の校地内における練習は、8:30～16:30 までとし、別途作成の計画表にしたがって活動することとする。ただし、顧問・コーチ・保護者のいずれも不在の場合は、練習を停止する。
 - ・体育館、運動場、テニスコート、武道場など指導者で決定する。
 - ・長期休業中の練習については別に計画する。
 - ・長期休業中の練習は原則として日曜日には活動しない。なお、長期の休養期間を設定する。(学校閉庁日等)
 - ・指導者の代わりに、校長が認めた保護者のもとで実施することができる。
- 7 長期休業中の活動時間
 - ・8:30～16:30 までの間とし、3時間程度を基本とする。
- 8 休養日について
 - ・小・中学校においては、学期中は、週当たり2日以上休養日を設けること。その場合、平日少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という)は少なくとも1日以上とし、家庭の日(毎月第3日曜日)は部活動を実施しない日(ノー部活デー)と位置付ける事。その際、週末に大会等で活動した場合は、翌月曜日や連休最終日を休養日とするなど、休養日を他の日に振り替え、適切に休養日を設定する事。
 - ・小・中学校においては、1日の活動時間を長くとも平日では2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うこと。
【長崎市課外クラブ(部活動)指導の手引き(ガイドライン)】より抜粋
- 9 年間活動計画の作成について
 - ・年度当初に顧問、部長、外部指導者で話し合って年間活動計画を作成すること。
- 10 合宿・強化練習会の実施について(追加)
 - ・宿泊を伴う合宿・強化練習会については、事前に所定の様式にて、学校長あて届け出て承認を得るものとする。なお、顧問の同行を原則とする。
- 11 県大会・九州大会・全国大会への出場支援について
 - ・県大会以上の各種大会出場にかかわる支援については、緑が丘中学校部活動援護基金を設立し、その規定に則り運用するものとする。

附則 平成13年 9月19日 一部改正

附則 平成16年 4月 1日 一部改正

附則 平成26年 2月27日 一部改正

附則 平成28年 4月26日 一部改正

附則 平成31年 4月24日 一部改正

附則 平成14年 4月 1日 一部改正

附則 平成25年 2月26日 一部改正

附則 平成26年 5月22日 一部改正

附則 平成30年 4月27日 一部改正

附則 令和 2年 4月24日 一部改正